

相談支援部会グループのまとめ

|  |  |           |   |
|--|--|-----------|---|
| グループ   | Cグループ：高齢障害者の課題検討   |           |   |
| メンバー   | 阿多美美代（あおいサポートステーション）、佐藤陽子（いたる相談室）、中川裕太（福は家相談室）、佐藤真以（ホープ相談支援センター）、修理美加沙（やどり木）<br>佐藤ひとみ（障害者生活支援課地域生活支援担当）、目黒紀美子（障害者施策課障害者保健担当） |           |   |
| 日時   | 内 容（事例検討、見学等）  | 日時        | 内 容（事例検討、見学等）   |
| H29/6/13   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度活動内容の共有</li> <li>介護保険移行時の課題</li> </ul>   | H29/7/13  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネ協議会との共催研修について</li> <li>介護保険移行時の事例検討</li> </ul> |
| H29/8/22   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネ協議会との共催研修について</li> <li>前年度の事例を再検討</li> </ul>                                      | H29/9/11  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネ協議会との共催研修（事例検討を用いたグループワーク）</li> </ul>          |
| H29/11/2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネ協議会との共催研修振り返り</li> <li>今後に向けた課題整理</li> </ul>                                      | H29/12/12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険移行時の事例検討</li> <li>課題整理</li> </ul>              |
| H30/1/23   | <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービス事業所への聞き取り報告</li> <li>来年度に向けてまとめ</li> </ul>                                      |           | この活動以外に、有志で地域ケア会議にも出席   |
| 活動内容・検討内容  |  |           |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一回（H29/6/13）<br/>昨年度までのグループ活動の振り返りと確認、今年度の活動内容について確認。特に65歳到達または2号被保険者になることで起きる課題について、検討・整理を行った。</li> <li>・第二回（H29/7/13）<br/>介護保険移行時の課題解決には、ケアマネとの関係作りが必要ではないかという結論に至り、ケアマネ協議会との共催研修を計画。また、障害種別ごとに関わる関係者も課題も変わってくることから、障害種別ごとに事例を用いて検討。</li> <li>・第三回（H29/8/22）<br/>ケアマネ協議会との共催研修について、ケアマネ協議会担当者側と内容を確認。また、前年度議題に上がっていた事例について、資料を用いて再度検討を行う。</li> <li>・第四回（H29/9/11）<br/>ケアマネ協議会との共催研修、事例を用いてグループワークを行う。場所は杉並保健所地下講堂にて。2号被保険者と65歳到達の知的障害の二事例を扱い、参加者は約60名程度となった。</li> </ul> |  |           |   |

・第五回 (H29/11/2)

ケアマネ協議会との共催研修の振り返り、継続的に行う必要があることを確認。今後の方向性の確認と課題整理につなげた。

・第六回 (H29/12/12)

介護保険移行時の再検討。特に視覚障害の方への支援について、障害なのか高齢化に伴うものか判断が付きづらく、不利益につながる人が多いのではないかという意見あり。また、単身生活をしている障害者の場合、一人で暮らせているということが介護保険では評価が高く判定されてしまうため、必要なサービスが受けられないこともあるらしい。

・第七回 (H30/1/23)

通所系を中心に障害福祉サービスへの聞き取りを行い、介護保険の理解度や説明会の必要性などについて意見をもらう。前回に引き続き、介護保険移行時に不利益を生じる事例について課題整理を行い、来年度の活動内容や方向性についても検討を行った。

結論・残された課題など

今年度は、様々な事例を取り上げたことと、ケアマネ協議会とのつながりが持てたことは良かったと思う。感触としては概ね好評であり、「またやりたい」という意見もあり、来年度も引き続き行いたい。高齢分野の課題も多岐に渡っているため、今後も事例を重ねながら関係機関との連携ができるネットワーク構築が必要であると思われる。介護保険分野だけでなく、障害福祉分野の支援者への介護保険の理解を深める活動も、今後は行っていきたい。

また、地域ケア会議にも C グループメンバーから何名か出席したところ、介護保険分野では「キーパーソンに精神障害を持つ方の支援」という課題を取り上げて議論していた。参加して感じたことは、精神障害や発達障害は理解されにくく関係性の構築も難しいことから、支援に困難を感じやすいことがわかった。今後は、相談支援部会だけでなく障害福祉分野と介護保険分野での関係性を構築していくことで、課題解決への道筋がつけられるのではないかとと思われる。

最後に、介護保険移行に伴い不利益を生じる事例についても検討を行った。この議題の中で、障害福祉サービス事業所がもっと理解を深めていくことで、事前に情報を伝えることができたり、本人の不安解消につなげることもできると思われるため、今後の活動につなげていきたい。

来年度にむけて

C グループ内で検討を行った結果、来年度に向けて以下の課題を検討していきたい。

- ・ 地域包括を中心に介護保険分野の支援者に障害の理解を深めてもらえる活動
  - ・ 障害分野の支援者へ向けた介護保険の理解を進める活動
  - ・ 障害分野の支給（特に身体障害の個別給付）について事例を通して本会に報告する
- 来年度も引き続き、高齢障害者の課題検討についてグループ活動を進めていきたい。